

# 「こんに方は、 賢治さん」



KENJI



©オープロダクション



ゴーシュは賢治さんなの？宮沢賢治さんってどんな人なの？  
映画『ゼロ弾きのゴーシュ』（監督：高畑勲 | 1982年 | カラー | 63分）を鑑賞した後に、  
宮沢賢治の文学作品や歌を聞いてみましょう。  
「賢治がなりたがっていた“自分”」をさがしながら賢治の芸術を楽しむ時間です。

2024年  
4月29日(月・祝)  
11:00/15:00  
開演  
(各回30分前開場)

【構成・演出】

ふじたあさや

【音楽】

藤原豊

【出演】

内山森彦、八木橋里紗、小守航平

【会場】

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

【発売日】

2024年2月1日(木)

【料金】(全席指定・税込)

大人2,700円、U25割2,000円(会場にて要身分証明書)、小・中学生1,500円  
障がい者割引(付添1名まで)2,000円(要障がい者手帳・電話と窓口販売のみ)  
アルテリオ・シネマ会員2,500円(要会員証・ポイントなし・窓口販売のみ)  
推奨:小学生以上

【取扱い】

しんゆりチケットセンター  
(川崎市アートセンター内)ほか  
web  
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

※発熱や咳など体調に不安のある方はご来場をお控えください。また手指消毒、咳エチケット等にご配慮ください。



2024年  
4月29日(月・祝)  
11:00/15:00  
開演  
(各回30分前開場)

# 『ゴージュは、賢治さん』

清六さんに代わって

もう来年で宮沢賢治の著作権が切れるという時、弟の清六さんにお目にかかったことがある。『グスコブドリの伝記』を劇化するの、ご挨拶に伺ったのである。清六さんは、「著作権が切れたらどうなるだろう」と、案じておられた。著作権が生きているときでさえ、賢治の原作とは似ても似つかぬ絵本や劇台本、放送脚本が出てきて、悩んでいるというのである。「これで著作権が切れたら、どんな目に会うかわからない。一緒に目を光らせてください」とおっしゃった。以来、私は賢治作品の脚色・演出を十本余りやっているが、その都度清六さんに代わって、「おいあさや、賢治さんの原作をゆがめてないだろうな」と目を光らせているのである。今回も、清六さんに代わって目を光らせ、高畑勲さんの傑作アニメーションを賢治自身の珠玉の言葉で包んで、「賢治こそゴージュなのだ」ということを伝えたい。

構成・演出 ふじたあさや



## 八木橋里紗

俳優(劇団民藝)

神奈川県出身。2011年、劇団民藝「アンネの日記」オーディションでアンネ・フランク役に選ばれ初舞台を飾る。その後、舞台を中心に活躍。最近の舞台:「ルナサに踊る」「泰山木の木の下で」(以上、劇団民藝)など



## 内山森彦

俳優(アンテナ)

劇団三十人會創立メンバー。舞台、テレビ、映画と幅広く活躍。朗読劇「父と暮らせば」他積極的に舞台に立っている。主な出演作品:「桜の園」(木山事務所)、「ああ、それなのに、それなのに」(名取事務所、別役実 最後の作品)、「探偵物語シリーズ」(TBスタジオ)、「どん底」(劇団東演)、「咲笑」(木冬社)

## 小守航平

俳優(劇団民藝)

神奈川県出身。フリーランスで活動後、2022年に劇団民藝に入団。1年目から劇団の舞台にも多数出演。出演作「破戒」「ある八重子物語」「善人たち」(以上、劇団民藝)など



©オプロダクション

## 『セロ弾きのゴージュ』

1982年|日本|カラー|スタンダード|アニメーション|63分|製作:オプロダクション  
監督・脚本:高畑勲 原作:宮沢賢治  
監修:宮沢清六、堀尾青史、天沢退二郎  
キャラクターデザイン・原画:才田俊次 音楽:間宮芳生  
企画:小松原一男、米川功真 製作:村田耕一  
声の出演:佐々木秀樹、雨森雅司、白石冬美、肘付兼太、高橋和枝

ゴージュは町の活動写真館(映画館)でチェロ(セロ)を弾いています。音楽会の練習でうまく弾けず楽長に叱られてばかり。ある夜、家で練習をしていると、ねこがきて生意気な口をききました。ゴージュはかっとなって「インドの虎狩り」という曲でねこを驚かせてみせます。それからかっこう、子だぬき、野ネズミが「弾いてくれ」とやってきました。動物との交流をへて、成長したゴージュはいよいよ演奏会をむかえます。

## 宮沢賢治について

1896年(明治29年)8月27日、岩手県稗費郡花巻川町(現花巻市豊沢町)生まれ。詩人、童話作家、教師、科学者、宗教家など多彩な顔を持つ。1926年(大正15年)には農民の生活向上を目指して農業指導を実践するために羅須地人協会を設立。無理がたたり病に倒れ、1933年(昭和8年)9月21日、37歳でこの世を去る。生前に刊行された著書は2冊。『セロ弾きのゴージュ』は没後の1934年に刊行され今年90周年となる。生涯で多くの短歌や詩、童話などの作品を遺し、いまなお、人々に読み継がれている。



KENJI

チラシデザイン・イラスト 河合さちこ

チケットご購入のご案内

川崎市市制100周年記念事業

アルテリッカは、ジャンルを超えた芸術の祭典! 2月1日(木)より発売スタート! 良いお席はお早めに

インターネット

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)  
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

電話予約

しんゆりチケットセンター

TEL. **044-959-2255**

(9:00~19:30 3月までは平日のみ、4/1から毎日営業)  
※毎月の施設点検日を除く

窓口販売 (A、B、C、D/地図参照)

**A** しんゆりチケットセンター (川崎市アートセンター内)  
(9:00~19:30) ※毎月の施設点検日を除く

**B** 新百合トウェンティワンホール (10:00~17:00)

**C** 昭和音楽大学チケットセンター (昭和音楽大学南校舎内)  
(10:00~12:00/13:00~18:00) ※2/1、2/2、2/22、3/8、3/15、土・日・祝を除く

**D** マイタウンチケットセンター マプル専門店街「写真工房」内  
(平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00)



Green For All  
KAWASAKI 2024  
環境と芸術を結ぶ未来のカタチ

お問い合わせ先: 川崎・しんゆり芸術祭実行委員会事務局  
TEL.044-952-5024 FAX.044-955-0431

[www.facebook.com/artericca](https://www.facebook.com/artericca) [@artericca1](https://twitter.com/artericca1)

